

令和2年9月30日

第532号

横浜市立日吉台小学校

校長 玉置 恭美

教育目標

みずから生きる
ともに生きる
日吉台の子

ひよしだい



総合防災訓練

～訓練は本番のように 本番は訓練のように～

副校長 栗原 信一

9月は、残暑厳しい日々が続きました。学校では、熱中症指数(WBGT)の値を日々チェックし、中休みや体育の授業の実施有無を決定してきました。そして、指数が少しでも上回った場合は、それぞれ実施を見合わせてきました。児童の安全を守ることを第一に考えた判断です。

さて、コロナ禍ではありますが、9月は総合防災訓練が行われました。とは言うものの今年度は、密を避けるために三学年ずつに分かれ、2回の訓練を実施しました。本校では、学校長の発案で、昨年度から『緊急地震速報』の訓練放送を用いた訓練を行っています。

訓練でこの放送に聞き慣れることで、いざ本番となったときあわてることなく、初動の行動をとることができるようになると思います。この日も、緊急地震速報の訓練放送が流れると、児童は速やかに机の下に潜り身の安全を守っていました。

ところで今回の訓練は、地震によって放送機器が使用できないという設定で行いました。訓練は、児童だけでなく教職員の危機管理意識、対応力を高めるためでもあります。放送機器が使用できない場合、頼れるのは人(教職員)となります。地震発災時、まず学校長が本部長として本部を立ち上げ、指示を行います。次に、検索班の教職員が本部(職員室)に集合し、児童が安全に避難できるよう、避難経路の確認へ向かいます。ここで効力を発揮するのが無線です。一昨年から無線を導入し、今年度もその台数を増やしました。これにより、検索班が避難経路を確認後、直ぐに担任へ避難開始の指示が出せます。今回も短時間で校庭への避難を完了することができました。児童は、誰一人おしゃべりすることなく、落ち着いて避難することができました。

「訓練は、本番のように、本番は訓練のように」 よい訓練ができました。



▲無線を使用しての訓練

いよいよ10月となります。運動会に向けてのカウントダウンです。児童は、日々、徒競走(障害物走)、演技、リレーの練習に精一杯励んでいます。

今年度は、感染症拡大防止を講じた上で完全入替制の低・中・高学年の分散開催となります。児童一人に対し保護者一人の参観という、今までにない開催となります。ご迷惑をおかけしますが、感染防止のための状況をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

